

2017・18年度
国際ロータリー第2790地区

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

月

9

2017年
SEPTEMBER
VOL. 3

二代豊国 月下美人図

基本的教育と識字率向上
／ロータリーの友月間



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



COPY FOR MEMBERS



一 瑛 齋 豊 國 畫



地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



国際ロータリー第2790地区 寺嶋 哲生 (柏RC)
2017-18年度ガバナー

人口動態から考える戦略計画の必要性

只今の日本の総人口が、既に減少を始めている事は、皆様ご承知の通りです。問題は、総人口の減少のみならず、それを上回る速度で進む生産年齢人口の減少と、高齢者人口の増加であります。

今年、いわゆる団塊世代の第一世代、昭和22年生まれの方々が、満70歳とされます。当然、今から5年後以降、団塊世代が次々と後期高齢者に達齢する事になります。ここ暫く、高齢者が思いがけない運転ミスを犯し、交通事故を起こしたとの報道を耳に致します。後期高齢者の増加した社会を維持するコストとは、どれ程になるのでありましょうか。

一方で、介護の現場では、決定的な人手不足が生じているとの事です。少ない生産年齢人口で、誰が社会を支えるのか。近い将来、更に本格化する高齢化問題は、解決の方法があるのでありましょうか。

歪んだ人口動態に起因する諸問題は、恐らく今後、相当に長期化せざるを得ないでありましょう。只今の世代別の人口分布を見れば、70歳を目前に控えた団塊世代が、ひときわ大きく突出している。その次のピークは、只今40歳前後の世代、いわゆる団塊ジュニアです。団塊・団塊ジュニアに続く第三のピークは、存在しておりません。即ち、団塊ジュニアが死ぬまで、この歪んだ人口分布が解消する事はない。つまり、解消までに40年近い歳月が必要であることになりま

す。

生産年齢人口を、非生産年齢人口で除した数字が2を超えている状態を、人口ボーナスと呼ぶそうです。かつての日本の高度経済成長期が、まさに人口ボーナス期でありました。「成長は全てを覆い隠す」という格言があります。確かに高度経済成長期は、殆どの投資が肯定されて時代でした。しかし、只今のようないく人口オーナス、ダウンサイジングの時代には、問題を放置すれば傷口は更に広がる。即ち、時間が解決してくれない時代であると言えます。ロータリーも、例外ではありません。不作為は衰退を意味します。RIが推奨するように、単年度主義に捉われない、戦略計画が必要となる時代に入ったというべきでありましょう。

自分達の所属するクラブに於いて、現在抱えている問題点は何か。まずは課題を抽出して、広く会員間で共有する。次いで、自分達クラブの長所と短所は、何か。長所を伸ばし、短所を克服する術はあるのか。自分達のクラブは、近未来にどんなクラブとなるべきなのか。目標を共有化して、目標に近づく方法を考える。方法論が見出せたなら、複数年に渡り、一歩でも理想に近づく努力を継続する。恐らくは、そんなプロセスを常態化させるべき時なのでありましょう。将来的な戦略計画に向けた一歩を踏み出す。今年度は、そんな年としてみては如何でしょう。



ガバナーエレクト就任にあたって

2017-18年度ガバナーエレクト **橋岡 久太郎** (佐倉中央RC)

寺嶋哲生ガバナー年度のガバナーエレクトを拝命いたしました橋岡久太郎と申します。第11分区、佐倉中央RCに所属いたしております。昨年の9月、ガバナーノミニーにご推挙を賜り、地区内外の素晴らしい先輩方よりロータリーの様々な事を愉しく学ばせて頂いております。

能楽の代表的な祖である世阿弥の言葉に「年々去来の花を忘るべからず」があります。

まさに謙虚な思いでロータリーの奉仕を皆様方より一段ずつ学び、自然と成るまで身につけ、来る時に奉仕の花を咲かせるということかと存じます。いっそうの勉強精進と自らに命じております。

そのような日々の中、6月末に次年度同期となるガバナーエレクト（国内34地区34名）の初めての集まりがあり、ガバナーの選出も地区事情は様々なということも分かりました。2週間前にノミニーに指名を受け、あたふたと参加された方。山陽地区では、クラブで「いつの日かガバナーを出そう!」と、その日のために会員全員で毎月一人2千円を長年にわたり積立てをし、この度はそれも持たされて参りましたという方もいらっしゃって、クラブ奉仕の素晴らしさに感動いたしました。

しかしながら、未だ2地区のガバナーエレクトが決まっておらず、32地区32名のスタートとなり、改めて当地区の指名委員会方式のガバナー選出方

法の採用と、パストガバナー関口徳雄指名委員会委員長をはじめ、委員の方々の素晴らしさに感謝と感銘を受けました。

ガバナーを拝命し、地区に奉仕するには出来るだけ早い時期からロータリーの様々な事柄、ルールや慣習等学ぶことが良いので、ノミニーはもとより、ガバナーノミニーデジグネートの選出が不可欠かと存じます。

7月1日には、ガバナー・元・次期ガバナー懇談会に初めて出席させて頂きました。300名を超えるパストガバナー、ガバナー、エレクト、ノミニーの方々が集い、新ガバナーへの激励と国際ロータリー理事の方々による御挨拶ご報告等が行われ、ロータリアンとしてその圧巻さに高揚感を覚えました。

9月初旬には、第1回目のGETS（通称ゲッツ：ガバナーエレクト・トレーニングセミナー）への出席があり、これより先、国内2回、北米サンディエゴに於いて1回と、オフィシャルな学習が始まります。

2790地区の皆様方の少しでもお役に立てるよう懸命に努力いたして参ります。更なる、叱咤とご指導ご教示、お力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ガバナー・元・次期ガバナー懇談会、今年度ガバナー会議長RID2750（東京南西部）猿渡昌盛ガバナーのご挨拶。



同期の東京（RID2580・RID2750）の松坂順一GEと服部陽子GE。
嬉しい偶然でお二方ともに、私と同じく会員数21名のクラブからのエントリーです。



「ロータリー青少年保護の手引き」について

青少年奉仕統括委員会

委員長 津留 起夫 (市原RC)

RIは、この春に世界各地に「ロータリー青少年保護の手引き」を配信し、地区ガバナーの責任を「ロータリー青少年交換を含むすべての青少年プログラムについて、ロータリー章典に従う青少年保護方針が地区に備わっていることを確認する」と決めました。指針とは「地区青少年保護方針」、「虐待・ハラスメントの申し立て報告に関する指針」「青少年プログラムボランティア申込書」の3つです。

この手引きは、すべての青少年の為に安全な環境をつくり維持するとした「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を基本理念としています。これらの指針は、青少年交換プログラムに参加する地区には、既に義務付けられているもので、これを他の青少年プログラムにも広げることが地区ガバナーに課したものです。また指針以外にも青少年の旅行について明確にしておき、海外都市のロータリアンが青少年の受入や、受入の手配を頼まれた場合など、海外のクラブまたは地区が青少年の旅行を手配する場合には、青少年交換の活動と見なすとし、地区の青少年交換委員会を通じて実施し、すべての参加クラブと地区はロータリー章典に規定されたロータリー青少年交換の認定条件を満たす必要があるとしました。海外RCと派遣・受入のクラブ間、青少年奉仕活動を行っているクラブに係ることですので、地区委員会にご相談をお願い致します。更に、深刻な事態（入院に至る事故、犯罪、早期帰国、死亡）について、「その事実を知ってから72時間以内にRI本部に報告し、地区が事態の全容を確認できていなくても、72時間以内に報告書を提出する」としています。青少年のために安全な環境を作ることは、地区リーダーやクラブ会長だけの仕事ではありません。すべてのロータリアンが等しく負担する事が期待されております。

青少年奉仕統括委員会と致しまして、寺嶋ガバナーより、これらの指針について整備するようにご指示をいただいておりますので、今後、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



インターアクト委員長就任にあたって

インターアクト委員会

委員長 須藤 邦雄 (千葉西RC)

インターアクト委員会は地区青少年奉仕部のひとつです。

部会内の他委員会(RA・RYE・RYLA)と協調・協力しながら活動していきたいと思います。

委員会活動については、もっぱら側面からのサポートが主であると考えます。千葉県高等学校文化連盟インターアクト専門部会・提唱RCとの合同会議・委員会・協議・協調を重ねながら第2790地区内14RCが提唱する14高等学校インターアクトクラブの生徒・顧問教諭とともに行事を成功に導けますよう活動して参ります。

年間行事としましては、第51回インターアクト年次大会を8月26日(土)に年次代表・市原中央高等学校が主体となり、提唱クラブの市原RCと共に開催いたします。年に一度、インターアクトクラブ員が一同に集まり、活気ある行事であります。

今大会テーマは「70億の幸せを求めて」と題して、午前の部では講師にNPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン様を招き、講演テーマ「国際社会で世界を変える」～自分たちにもできる国際協力～についての講演を実施いたしまして、昼食の合間をぬって各校作成のポスターを前にインターアクトクラブの活動についての紹介をクラブ員がいたします。

午後の部ではワークショップとして、4分科会にわかれての討議を行い、各分科会毎に討議報告します。

これからのより良い世界について、インターアクト一人ひとりに様々に考えてもらうきっかけにしたいと思います。

唯一主催行事の第30回インターアクト国外研修については、11月18日(土)～21日(火)4日間の日程で台湾・台北市へ訪問し、国際理解・国際交流・社会奉仕及び日台の歴史・文化についても同世代の青少年と共に、時間を共有した中で考え行動し、多くの和を創出してほしいと思います。

今回の訪問については、RI3481地区(台北市)の協力を頂いております。

第51回インターアクト指導者講習会については、2018年5月11日(金)に文理開成高等学校がホスト校として、開催内容等の準備を提唱クラブであります鴨川RCと協議しております。案内等は来春頃になると思います。

是非、インターアクト提唱クラブ以外のRCにも行事に参加頂き、インターアクトクラブの結成・提唱をお考え頂けたらと思います。

奉仕の精神に満ちた次代を担う、青少年の活動を委員会、青少年部会メンバー一同支援してまいります。



ローターアクト委員長 就任にあたって

2017-18年度ローターアクト委員会
委員長 **丸山 泰典**（銚子RC）

2790地区には、現在、館山、習志野中央、茂原、千葉科学大学、市原中央の5つのローターアクトクラブがあります。現在会員総数は35名です。1997-98年度には、14クラブ、会員総数165名でしたが、残念ながら年々減少の一途をたどってきています。

次年度の方針は、まず足元を固めること、これを最優先に考えています。現在、存在する5クラブとの連携を密にし、例会のサポートをしたり地区行事へ参加してもらうことで、ローターアクト活動の魅力の再発見をしてもらうよう努めます。

今年度は既に各クラブの会長と地区役員のSNSグループが開設されており、地区案内やクラブ案内情報を共有し、問いかけには必ず返信するように徹底しています。このルールはトップダウンではなくアクターの中から自発的に出てきたものです。

また今年度は地区行事のアクターズミーティングへの参加を提唱RCの担当者様にお願いしております。ローターアクト活動の支えとなるのは、提唱RCの存在です。まずは単体クラブでの活動の活発化が大切だと考えております。それぞれのクラブの活動を活発にすれば会員数の減少が食い止められ、さらに良い影響は他のクラブに波及する事でしょう。単体クラブの活動がローターアクトクラブ全体の活発化を支援すると信じております。

クラブ数がこれ以上減少することは絶対に食い止めなければいけません。現在活動中の5クラブへの重点的な支援が再生への第一歩となると考えております。



ロータリー親善大使としての 青少年交換留学生達と 青少年交換委員会の使命

青少年交換委員会
委員長 **三神 秀樹**（千葉南RC）

本年度は、イタリア、スイス、アメリカ等への長期派遣候補生が5名、アメリカへの短期派遣候補生が3名、計8名の交換留学を実施いたします。短期では、1ヵ月という期間を設けています。しかし、実際には夫々の家庭で1ヵ月ホームステイしますので、通算2ヵ月間の共同生活になります。故に短期交換学生も、語学力は基より、異文化間コミュニケーション能力をかなり習得して帰国します。また長期では、更に現地での就学経験も豊富となるため、現地人と間違えられるような成長を遂げる学生もおります。渡航先が英語圏でない場合等は、英語とその地方の言語、例えばドイツ語やイタリア語等を予め学習して派遣に臨みます。現地語を日常で使うことは基本ですが、英語は何処の国でも通じる場合が多いので、結果として2つの外国語を習得することになります。但し、語学が目的の交換留学ではないので、渡航前、毎月1回のオリエンテーションやスプリングキャンプ実施はもとより、派遣生やホストファミリー、そして夫々のロータリアンに対しても危機管理の概念を今まで以上に研修する場を設けるようにし、本来の親善大使としての使命を果たせるように致します。また、委員会としては、平成30年5月に開催が予定されている「第23回日本青少年交換研究会・千葉会議」を成功させるため、RIJYEC（国際ロータリー日本青少年交換委員会）関係者各位並びにROTEX（青少年交換プログラムを終了した者による組織）関係者、スポンサークラブ、ホストファミリー、インバウンド留学生、派遣候補生達と委員会メンバーが一丸となっております。本研究会は、富士、東京、米子という様に毎年開催地が変わります。是非とも34地区の中でも「千葉会議」が一番有意義で心に残る会議に成る様にしたいと思っております。

以上



RYLAに 参加してみませんか

RYLA委員会

委員長 阿部 昭広 (君津RC)

RYLA委員会では、地区内各RCより推薦を受けた若者（14歳～30歳）を対象に、「ロータリー青少年指導者養成プログラム Rotary Youth Leadership Awards」を開催しています。当地区のRYLAは今年度で第41回目を迎えます。

RYLAの目的は、若者がそれぞれの地域やその範囲を超えてリーダーとして活躍できるための手助けとなることです。RYLAの手法や日数は、各地区によって様々ですが、当地区では、長年「歩行ラリー」を教材にしており、今年度も一泊二日で開催する予定となっております。

RYLAに参加した若者とロータリアンは、一泊二日という短い日程の中で、寝食を共にしながら、日常生活においては考えもしないような問題に向き合い、体験・議論・検証などを繰り返し、答えを導くために協力をしていきます。当日の朝、初めて会った人達とペア・チーム・ユニットを組み協力していくのです。初めて会った人の前で自分の考えや意見を言うこと、他人の意見を聞くこと、年代の違う人の考え方に刺激を受けること、将来の職業に対する考えを持つこと、いろいろな観点において、参加者皆さんが何かしら感じていただけることは多いと思います。毎年、参加者からの感想をいただいておりますが、RYLAの素晴らしさを実感していただけていると思っています。

前年度のRYLAは今年2月に開催されましたが、若者を推薦していただいたRCは、26クラブしかありませんでした。今年度は、RYLAに参加したことがないRCからの推薦や参加を、是非ともお願いしたいと思っております。

また、RYLAの開催に欠かせない存在としてRYLA実行委員の皆さまがいます。各分区・各RCにおかれましては、RYLA実行委員の推薦をお願いいたします。

第41回 第2790地区 RYLA

開催予定日 平成30年2月17日(土)～18日(日)



ロータリー学友委員長 就任にあたって

ロータリー学友委員会

委員長 酒井 秀光 (茂原RC)

青木ガバナー年度に続き、寺嶋年度も学友委員長を仰せつかりました茂原RCの酒井秀光です。

学友委員会は青木ガバナー年度で新設された委員会で、目的はロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友委員会の役割です。また、地区内の学友会の監督にもあたります。「ロータリー学友」とは以下のプログラム終了者です。

●インターアクト●ローターアクト●ロータリー青少年交換●新世代交換●ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)●ロータリー平和フェロシップ●ロータリーの奨学金(グローバル補助金、地区補助金)●米山奨学生

私たち地区学友委員会は学友がロータリーと末永い関係を保てるよう、学友との協力方法を会員に知らせたり、ロータリーのウェブサイトMy ROTARYでアカウント登録するよう学友に促します。また、ロータリーのプライバシー方針と青少年保護方針、各国の法律が遵守されるよう確認したり、学友行事と学友会を支援し、調整を図っています。地区の会員増強委員会、ロータリー財団委員会、青少年奉仕委員会などと協力して、地元の学友を見つけ、学友の特別なスキル(パブリックスピーキングなど)、職業・専門分野、クラブへの入会や財団への寄付の可能性を把握するよう努めています。

7月28日に第1回学友会関係委員会会議を開催いたしました。関係する委員会委員長にお集まり頂き、意見交換を致しました。各委員会の学友の立場が微妙に違うことを確認しましたが、会議の中で学友・現役の代表者が会議する場として、仮称「RF(Rotary Family)協議会」を地区学友委員会内に設置する事を承認しました。

さらに私たち委員会は、現在のプログラム参加者と強力な関係を築き、学友とのつながりを深め、将来クラブに入会してもらうことを視野に入れた活動をしたいと思います。そのために、学友の存在を会員にアピールし、学友がロータリーに入会しやすい新クラブ(Webクラブ)を推進したいと思います。設立は困難であると思われますが、委員会の立場としては設立に向けて準備を進めるつもりです。

また、学友行事として「ロータリーファミリー同窓会」を恒例化したいと思います。

各会員のご協力をお願いいたします。

文 庫 通 信 (359号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎「Rotary－かえりみて、あすを考える」 久野 薫 2017 16p (D.2630地区大会)
- ◎「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2017 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」 水野正人 2017 7p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「危機管理の人生」 安斎 隆〔2017〕 12p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「2030年、そのとき日本は」 国谷裕子〔2017〕 2p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎「みどりの力で心の復旧・復興を」 涌井雅之〔2016〕 11p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「人はどうがんと向き合うか？」 垣添忠生 2017 4p (D.2710地区大会特集号)
- ◎「青森県の短命県返上活動の現状」 中路重之 2015 7p (D.2830地区大会記録誌)

- ◎「障害者アートで社会を変える」 播磨靖夫〔2016〕 5p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎「フランス人から見た日本文化のあれこれ」 リシャル コラス 2017 4p (D.2780地区大会報告書)

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館：午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま209号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 - 財団50周年度は順調な滑り出し -
- ・来春採用の奨学生募集がスタート
- ・江ノ島海岸清掃活動を実施 - 第2780地区米山学友会 -
- ・50周年記念式典の登録受付を開始
- ・台湾学友会による日本人対象奨学金 第9期生が決定
- ・【訃報】評議員 奥周盛氏（第2500地区）逝去

《今月のピックアップ記事》

50周年記念式典の登録受付を開始

前号でご案内した通り、当会の財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。多くの皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

【日 時】2018年2月4日(日) 第1部 フォーラム 10:30～12:15 「世界に平和の種をまく ～米山記念奨学事業、未来への提言～」
第2部 祝賀会 12:30～14:30

【会 場】グランドニッコー東京 台場

【登録料】ロータリアンとご家族 10,000円/人 学友・奨学生とご家族 5,000円/人 上記以外の方 10,000円/人

【申込締切】2017年9月30日(土) 【送金締切】2017年10月10日(火)

詳細は当会HPの「財団設立50周年特設ページ」をご覧ください。お早めにお申し込みください。

www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#shikiten ← 登録用紙は、サイトからダウンロードできます。

〈お知らせ〉 台湾学友会による日本人対象奨学金 第9期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：(社) 中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」の第9期生が決定しました。6月末の締切までに13人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考が行われました。

今年度は、台湾のロータリアンから大口寄付があったことから、通常2人のところ、4人が採用されました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約91,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight209_pdf.pdf

橋岡久太郎ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

所在地：〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森3-1-1-302

TEL：043-284-2790 FAX：043-256-0008 E-mail：18-19gov@rid2790

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



新倉 多磨
(千葉幕張RC)
7回目



猿田 正城
(銚子RC)
7回目



鈴木 健吾
(柏西RC)
7回目



榎本 洋史
(柏西RC)
7回目



高木 恒雄
(船橋西RC)
6回目



高橋 宏資
(銚子RC)
6回目



川和 弘行
(柏西RC)
6回目



松本 ユミ
(柏西RC)
5回目・6回目



正林 義博
(茂原RC)
3回目

新ポール・ハリス・フェロー



竹内 達
(茂原RC)
3回目



宮内 龍雄
(銚子RC)
3回目



鈴木 勇次
(茂原RC)
2回目



本橋 和也
(茂原RC)
2回目



嶋崎 正幸
(習志野RC)
2回目



秋葉 幸男
(茂原RC)
1回目



錫田 禮司
(習志野RC)



川名 正志
(君津RC)



米本 重洋
(茂原RC)

ベネファクター



飯島 俊一
(袖ヶ浦RC)
11回目



保川 和弘
(茂原RC)



小林 通成
(習志野RC)
16回目



得居 仁
(松戸東RC)
16回目



大岩 將道
(銚子RC)
7回目



錫田 禮司
(習志野RC)
2回目

新ロータリアン (敬称略)



竹中 正二
(千葉南RC)
ホテル
6月9日入会



甘利 守
(袖ヶ浦RC)
石油精製
7月3日入会



水谷 義一
(白井RC)
電気工事
7月3日入会



待山 弘
(野田RC)
ペットサロン
7月3日入会



脊尾 尚志
(千葉幕張RC)
産業廃棄物処理業
7月4日入会



吉田 登
(流山中央RC)
不動産業
7月4日入会



吉越 善次
(流山中央RC)
興業銀行
7月4日入会



伊藤 茂樹
(市川南RC)
パン製造業
7月5日入会



安田 憲史
(館山RC)
運送業
7月5日入会



齋藤 初美
(佐倉中央RC)
教育サービス
7月5日入会



長田 芳喜
(千葉中央RC)
飲食業
7月6日入会



菅原 信治
(千葉中央RC)
WEB開発・システム開発
7月6日入会



永野 倫康
(千葉中央RC)
建設業
7月6日入会



伊藤 宏司
(千葉若潮RC)
贈答・広告品
7月6日入会



北原 賢一
(千葉若潮RC)
法律事務所
7月6日入会



福田 恵司
(千葉若潮RC)
飲食業
7月6日入会



茂木 勇介
(千葉若潮RC)
塗装工事
7月6日入会



後藤 良子
(木更津RC)
調剤薬局
7月6日入会



能城 京子
(木更津RC)
花販売
7月6日入会



椎熊 邦広
(富津中央RC)
電気工事
7月6日入会



石井 智信
(富津中央RC)
観光事業
7月6日入会



高木 健次
(船橋西RC)
菓子製造・販売
7月7日入会



小川 俊満
(千葉南RC)
発電所
7月7日入会



松丸 隆一
(千葉南RC)
普通銀行
7月7日入会



山口 桂亨
(勝浦RC)
保険 生命保険
7月7日入会



萬燈知永子
(千葉幕張RC)
不動産業
7月11日入会



藤原 光
(八街RC)
地方銀行
7月19日入会



鈴木 俊吉
(富津中央RC)
クリニック
7月20日入会



山田 篤志
(柏西RC)
生命保険
7月21日入会



喜多見 貴
(君津RC)
商業銀行
7月24日入会



中村 旬治
(野田RC)
金融業
7月24日入会



川島 仁一
(銚子東RC)
地方銀行
7月25日入会



行木 明宏
(銚子東RC)
地方銀行
7月25日入会



水野 正則
(勝浦RC)
電気及び電子工業 電気工事
7月28日入会



久 建次
(木更津RC)
為替銀行
8月1日入会



目片 辰男
(千葉港RC)
保育園
8月2日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2017年7月分)

区分	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1区分	市川	88.33	3	40	1	40	1	0
	市川東	100.00	3	43	3	43	3	0
	市川南	86.00	4	19	2	20	4	1
	浦安	93.50	3	43	2	43	2	0
	市川シビック	87.49	4	32	0	32	0	0
	浦安ベイ	82.76	3	13	0	14	0	1
	平均	89.68	3.33	31.67	1.33	32.00	1.67	2
第2区分	船橋	88.22	4	29	0	30	0	1
	船橋西	91.98	4	42	7	43	7	1
	鎌ヶ谷	78.45	4	34	2	34	2	0
	船橋東	73.35	4	32	3	32	3	0
	船橋南	94.29	4	13	1	15	1	2
	船橋みなと	91.42	4	20	4	20	4	0
	平均	86.29	4.00	28.33	2.83	29.00	2.83	4
第3区分A	千葉葉	91.51	3	80	3	82	3	2
	新千葉	78.09	4	51	0	51	0	0
	千葉西	87.42	4	45	3	47	3	2
	千葉中央	80.00	3	32	0	35	0	3
	千葉幕張	72.11	4	35	2	37	3	2
	千葉東	78.39	4	34	6	35	6	1
	千葉若潮	75.00	2	31	1	34	1	3
	平均	80.36	3.43	44.00	2.14	45.86	2.29	13
第3区分B	千葉南	77.04	4	47	7	47	6	0
	市原	80.18	3	40	3	40	3	0
	千葉港	80.95	4	24	3	24	3	0
	市原中央	80.75	4	50	1	51	1	1
	千葉北	81.90	4	29	3	29	3	0
	千葉緑	96.15	3	26	1	26	1	0
	平均	82.83	3.67	36.00	3.00	36.17	2.83	1
第4区分	木更津	86.03	3	27	2	28	4	1
	上総	68.33	4	15	0	15	0	0
	富津中央	75.00	4	29	1	32	1	3
	木更津東	84.47	4	46	1	47	2	1
	君津	96.65	4	54	4	56	4	2
	袖ヶ浦	93.19	4	25	4	26	4	1
	富津シティ	82.40	4	16	0	15	0	△1
	平均	83.72	3.86	30.29	1.71	31.29	2.14	7
第5区分	館山	83.95	4	49	3	49	3	0
	鴨川	87.77	4	31	4	31	4	0
	勝浦	92.50	4	36	4	38	4	2
	千倉	58.33	4	6	2	6	2	0
	鋸南	92.30	3	13	1	14	1	1
	館山ベイ	73.86	4	23	0	23	0	0
	平均	81.45	3.83	26.33	2.33	26.83	2.33	3
第6区分	茂原	87.90	3	62	0	64	0	2
	東金	71.69	3	14	1	15	1	1
	大原	94.45	4	9	1	11	1	2
	大多喜	70.83	3	6	1	8	1	2
	成田空港	81.17	3	35	0	35	0	0
	茂原東	93.49	3	21	1	22	1	1
	茂原中央	79.76	4	21	2	21	2	0
	大網	75.81	4	31	1	31	1	0
	東金ビュー	82.50	2	20	1	20	1	0
	平均	81.96	3.22	24.33	0.89	25.22	0.89	8

区分	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7区分	銚子	86.18	4	39	4	40	4	1
	旭	79.62	4	43	3	45	4	2
	八日市場	80.37	4	38	2	38	2	0
	銚子東	76.08	4	32	2	32	2	0
	平均	80.56	4.00	38.00	2.75	38.75	3.00	3
第8区分	佐原	82.47	4	49	0	49	0	0
	多古	91.67	2	15	0	15	0	0
	小見川	91.30	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	77.27	4	25	1	25	1	0
	平均	85.68	3.50	28.00	0.25	28.00	0.25	0
第9区分	成田	76.73	4	69	4	72	4	3
	八街	83.73	4	30	3	31	3	1
	印西	73.97	4	20	1	20	1	0
	白井	57.81	4	15	0	16	0	1
	富里	83.15	4	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	81.26	4	69	0	69	0	0
	平均	76.11	4.00	38.83	1.33	39.67	1.33	5
第10区分	柏	86.30	4	62	9	62	9	0
	我孫子	76.91	4	26	3	26	3	0
	柏西	83.88	4	62	3	64	3	2
	柏東	79.14	4	35	6	35	6	0
	柏南	80.90	3	33	5	35	6	2
	平均	81.43	3.80	43.60	5.20	44.40	5.40	4
第11区分	習志野	86.27	4	26	2	26	2	0
	八千代	92.80	4	51	0	51	0	0
	佐倉	58.62	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	81.20	3	22	1	21	1	△1
	四街道	69.55	4	27	3	28	3	1
	習志野中央	71.50	4	48	5	52	5	4
	佐倉中央	65.08	3	21	5	21	6	0
	平均	75.00	3.71	31.86	2.71	32.57	2.86	5
第12区分	松戸	88.39	4	55	0	57	0	2
	松戸東	95.14	4	46	0	45	0	△1
	松戸北	81.05	4	39	0	39	0	0
	松戸中央	81.61	4	44	6	44	6	0
	松戸西	83.62	4	29	0	29	0	0
	平均	85.96	4.00	42.60	1.20	42.80	1.20	1
第13区分	野田	79.89	4	54	7	56	7	2
	流山	71.42	3	14	4	14	4	0
	野田東	79.36	3	22	0	22	0	0
	流山中央	88.88	4	22	2	24	2	2
	野田セントラル	85.22	4	25	1	25	1	0
	平均	80.95	3.60	27.40	2.80	28.20	2.80	4

クラブ数83RC

2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2017年7月末日	地区会員数	2,821人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2017年7月末日	地区女性会員数	185人

当月平均出席率	82.91%
増減	+60
女性会員増減	+8

物故会員 (敬称略)



力丸 庄司
(第12区分 松戸東RC)
逝去日
2017年7月20日(享年85歳)
入会日
1980年1月25日
2009年 叙勲 瑞宝双光章
1988年 PHF
2007年 ベネファクター
第3回米山功労者



橋岡 佐喜男
(第2区分 船橋東RC)
逝去日
2017年8月8日(享年49歳)
入会日
2015年2月5日

9月のロータリーレート

109円

訂正・お詫び

月信8月号に誤りがありました。深くお詫びいたします。

*フェローシップ委員会 委員長
藤崎 泰裕(千葉南RC)(誤)
→(千葉西RC)(正)

識字率向上月間特集

地区補助金を活用してラオスの子供たちの識字率向上へ

(千葉港RC)

◆ラオス支援のきっかけ

当クラブが30周年（平成26年）を迎えるにあたり、記念事業として地区補助金制度を活用し、海外支援をしてはどうかと企画・提案されました。

「目的は識字率向上」というテーマをもとに、東南アジアの中でも著しく識字率が低いラオス国（ネパールと同等レベル）を選択しました。

同国は人口も少なく（約700万人）海に面していないことから後発発展途上国であることや、貧しい国であるにも関わらず性格は明るく温和でおとなしい民族であること、そして大変親日的であることから支援することになりました。

◆これまでの実績

1年目はサラワン県（ラオス南部カンボジア国境付近）の5か所の小学校へ現地製造の机と椅子を130セット（390人分）を寄贈しました。

2年目は黒板を111枚現地製造し、サラワン県、カンムワン県の合計58校の小学校へ寄贈しました。

◆3年目の企画と支援結果

（2か所の図書開設と200冊の絵本配布）

今回の企画は

次年度の支援企画をするのは、いつも頭を痛めるわけであり

ますが、何よりも現地視察が最も有効手段であると思われま

す。
今回の企画も、2年目のセレモニーに参加した際に、現地（サラワン県）の教育庁関係者、先生方から「図書室がない、本が少

ない」との要望が多かったことから生まれたものです。
しかし、小学校へ図書室を開設？これは大変なことで、地区補助金レベルではとても無理ではないかと思われました。たまたま、現地通訳さんから“ラオスのこども”という日本の団体（代表は偶然にも米山学友会のチャントソンさんで、ラオスにおいて小学校などの空き教室を改装して、図書室を開設する活動をしているとのことでした。）がそんな活動をしているようだと聞きました。日本に戻り、早速連絡をとり、打合せをいたしました。金銭的にも可能であると判断し、今回の企画を提案しました。

サラワン県の2か所の小学校へ図書室を開設し、それぞれ100冊ずつの日本の絵本を寄贈することが出来ました。

◆会員の皆様の協力

200冊の絵本にはそれぞれラオス語に翻訳のペーパーを切り貼りする必要があります。これは結構大変な作業であります。

各会員が絵本を家に持ち帰りそれぞれ家族の皆さんの協力により約1カ月半程で達成できました。（一冊当たり1時間近

カンボジアの小学校教員養成校への教材支援事業報告書

(千葉若潮RC)

平成29年2月19日（日）に成田空港を出発して6時間のフライトの後、カンボジアの首都プノンペンに到着しました。今回の訪問のメンバーは清水会長を筆頭に総勢10名です。初日はプノンペンのトゥールスレーン刑務所跡を見学して、改めてポルポト政権下でのカンボジアの悲惨な過去を体感しました。2日目はアンコールワットのあるシェムリアップに空路で向かいました。約1時間のプロペラ機によるフライトの後、トンレサップ湖を観光して、水上生活している地元の人たちの生活ぶりを見学しました。夜は日本料理店で食事をした後、有志でシェムリアップの夜に繰り出しましたが、その賑わいには大変驚かされました。パブストリートという千葉の富士見町位の広さの中に、飲食店や屋台が所せましと軒を並べ、欧米人を中心とした多くの若者で深夜まで賑わっていました。3日目は午前中バルーンに乗って空中からアンコールワットを眺めた後、アンコールトムへと向かいクメール王朝の時代の遺跡を見学して、昼はクメール料理を味わい、その後アンコールワットを見学して世界遺産を満喫し、夜は伝統のアプサラダンスを見ながらの食事を楽しみました。そして4日目が今回の訪問の本題でありますコンボント

ム州の小学校教員養成校への訪問でした。早朝6時にバスでホテルを出発して、9時半に養成校に到着し、CIESF（NGO団体）の松倉事務局長からカンボジアの教育現場の現状とCIESFの取り組みの説明を受け、その後、我々が贈った教材を使っ

ての授業を見学しました。千葉若潮RCはクラブ創立当初から青少年の健全育成をテーマとしてきました。今回の小学校教員養成校への教材の支援は、カンボジアの子どもたちが十分な教育を受けられる事を願っての事業です。終了後は講堂に移り教材の贈呈式を行い、コンボントム州の教育長から感謝状を頂き、生徒や職員の方々から心温まる感謝の言葉を頂きました。昨年のプレイベン州へ訪問した時と同様、今回も熱烈な歓迎を受け、我々の取り組みが必ず花を開き実を結ぶと確信することが出来ました。終了後は陸路3時間をかけてプノンペンに戻り、王宮を見学した後、CIESFの長沼副理事長、松倉事務局長と夕食会（移動例会）を行い、22:50の飛行機で帰国しました。

くかかるものもあります)

◆現地訪問

2017年2月11日、当クラブより会長をはじめ3名の会員が訪問し、サラワン県ポンケオ小学校にて盛大にセレモニーを行い

ました。生徒たちの童話をもとにした演劇の鑑賞、本の朗読を聞き、記念撮影等をしました。バージーという儀式までやっていただき感謝、感謝でありました。

今後も支援活動を継続してまいりたいと考えております。



新設図書室で子供たちと



歓迎儀式 (バージー)



演劇鑑賞



現地にて本の整理



図書室看板



小学校外観



これからバルーンに乗って上空からアンコールワットを見学



アンコールワットの前で記念写真



カンボジア伝統のアプサラダンスを鑑賞しながらの夕食会



コンポントム州の小学校教員養成校での教材の贈呈式で州の教育長から感謝状を頂く



教員養成校の生徒の皆さんと記念写真



米山記念奨学会だより

2017-18年度は
財団設立50周年



“日本と世界を結ぶ人づくり”

今年度は、世界の米山学友による記念事業として『世界米山学友会』が発足されます。この『世界米山学友会』とは、日本国内、海外各々の学友会・学友が横のつながり、交流により、国を超えた社会奉仕活動及び世界平和への貢献が効果的に行える輪となります。

カウンセラー・奨学生研修会のご報告

2017-18年度 地区米山記念奨学委員会 委員長 富 一美



7月22日（土）に2017学年度のカウンセラー研修会と併せて奨学生卓話研修会を開催しました。2部構成で行い、第1部のカウンセラー部門の方では、ロータリー米山記念奨学会学務・学友担当の武本泰子様を講師としてお迎えし、素晴らしいレクチャーをしていただきました。お蔭でカウンセラーの皆さんもより一層理解を深めることが出来た事と思います。奨学生の研修部門の方では、連続3回の卓話研修を重ねたこともあり、新規奨学生の模擬卓話の方も驚くほどの内容でした。9月以降、それぞれの奨学生の米山卓話訪問が今から楽しみです。乞うご期待ください。続いて、第2部はお楽しみの懇親会を行いました。楽しい会食とビンゴゲームで盛り上がり、最後は「手に手つないで」で締めくくりました。カウンセラーと奨学生の絆を深める良い機会になったと思います。ビンゴゲームの景品を持ち寄っていただいたカウンセラーの皆さん、ありがとうございました。また、今回の企画で懇親会のビンゴのカードを奨学生を含む参加者全員に買っていただき、その売り上げ金8万1千円を皆さんの善意として九州の洪水被害に寄付させていただきました。参加者の皆さん、ありがとうございました。



奨学生学友委員会だより

国際ロータリー第2790地区

2017-18年度 奨学生・学友委員会 委員長 山本 美代子

国際ロータリー第2790地区ロータリー財団学友会総会が7月9日東天紅で行われました。ロータリアンを交えて31名の出席でした。

仕事の都合により、会長不在の総会になりましたが幹事、執行部の皆さんが協力し合って無事に終えることが出来ました。

昨年のグローバル補助金奨学生・多井紗也子さんはイギリス留学を終えたばかりですが、学友会の執行部に入り活躍しております。

懇親会は学友会の皆さんが、各テーブルに着座した事により、ロータリアンと学友会の皆さんの距離が縮んだように感じます。とても楽しい時間の共有ができました。

今年度グローバル補助金奨学生の渡辺紗穂さんは、1年半の留学でオーストラリアに7月11日に出発しました。

多井紗也子さんの帰国報告があり、渡辺紗穂さんの留学出発の挨拶があり、充実した1日になりました。



二代豊国 月下美人図

二代目歌川豊国（うたがわ・とよくに 生没年不詳）は江戸時代後期の浮世絵師で、文政年間初期に初代豊国入門し、当初は国重（くにしげ）を、後に豊重（とよしげ）を名乗った。文政七年（西暦一八二四年）初代豊国の養子となり、初代の没後二代豊国を襲名する。但し、この襲名については同門不承知であったとされ、歌川派として高名であった歌川国貞（くにさだ）が、別に二代豊国を名乗っている。

